

U35のメンバーが市民にわかりやすくレポートします！

傍聴記

第2回総会

開催日：平成22年11月1日(月) 会場：京都ホテルオークラ

10年後の自分と、京都のまちの、
ミライとモンダイを考える。

京都市基本計画審議会

レポーター 松山 大耕さん



1978年京都市生まれ。2003年東京大学大学院農学科学生命研究科修了。平林寺専門道場で3年半の修行の後、2007年より妙心寺退蔵院副住職。現在、観光庁「VISIT JAPAN 大使」

POINT

1

新基本計画
「はばたけ未来へ！
京(みやこ)プラン」

平成22年10月に設置されて以来、実に37回、総議論時間90時間を審議にかけて、「はばたけ未来へ！京(みやこ)プラン」が取りまとめられました。また、市民へのアンケート、子どもからの絵日記募集、若者からの提案、そして、我々「未来の担い手・若者会議U35」も支援しながら実施したパブリック・コメントの募集など、幅広い市民参加事業が実施されてきたことも報告されました。



POINT

2

最後まで
続いた熱い議論

これまでの審議会と同様、最後まで熱い議論が交わされました。具体的には、都市経営の理念にある「主人公」は「主権者」のほうがよいのではないか、「日本の心」は「和の心」としたほうがよいのではないか、などの論点が挙げられました。これに対して、尾池会長が実に理路整然と議論を整理されたうえで、基本計画案は原案どおり可決されました。いずれの論点も、これまで審議会において十分に議論を尽くされてきたことが分かりました。



会議のポイント

POINT

3

京都の叡智の
結晶である計画案

基本計画審議会は京都の各界の代表70名で構成されていますが、このうち47名の委員が当日出席されました。門川市長がおっしゃったとおり、「本計画は京都の叡智の結晶」です。そのほか、立石会頭から「この基本計画の下、府、会議所などのオール京都で進めていくことが大切」、尾池会長から「皆さんには、千年先を見すえながら、実行していく段階で、色んな立場で御協力いただきたい」など、今後の取組に向けた発言もありました。



POINT

4

今後は、市議会での
議論と実施計画の策定へ

基本計画審議会終了後、11月4日に、私は尾池会長、浅岡副会長と共にこの基本計画答申を門川市長に提出させていただきました。今後は、市議会における議論を経たうえで策定されることになります。また、基本計画策定後は、京都市において具体的な取組内容が掲載された実施計画が策定される予定です。更に、平成23年1月には、我ら未来の担い手・若者会議U35が主催し、基本計画の策定を幅広く市民の皆さんにお知らせするためのイベントも開催する予定です。



今年は10年に一度の、京都市の10年後を考える年です。

市政をよく知り、よく考え、利用し、参加し、仲良くなろう



未来の担い手・若者会議 U35メンバーからの コメント

当日は、未来の担い手・若者会議U35から4名のメンバーが参加してくれました。
ここで、当日のコメントを紹介します。

越村 美保子さん
(U35副議長、株式会社染工場)



基本計画の審議過程で妊娠、出産という機会を得たが、審議会では、若者会議で活動したような参画の機会をより多くの女性に与え、サポートすべきであると発言させていただいた。

竹内 弘一さん
(KBSキャスター)



週1回のペースで会議しながら、プライベートでも集まっている。この若者の活気が京都の底力、パワーだ。

さとうひさゑさん
(NPOアート・プランまぜまぜ代表)



パブリック・コメントをどうするか分からない状態から、メンバーでワークショップを積み重ねながら効果的な方法を検討し、数字的な結果を出せたのは個人的にも自信になる。

真筆さん
(祇園甲部歌舞会芸妓)



一市民としてパブコメやシンポジウムに参加させていただいたが、市民の皆さんに伝えることの難しさを感じている。

基本計画審議会の中で、私から「これまでの未来の担い手・若者会議U35の活動内容」について御報告しました。報告しながら、「若者会議のメンバーが、それぞれがプライベートの時間を犠牲にして、いいものをみんなで作り上げようという熱意をもって、一生懸命活動してくださったおかげで、このような発表ができるのだなあ。」としみじみ感じ入りました。発表に対して、審議会委員のみなさまや市長から、非常に高く評価していただきました。この場を借りて、御協力いただいた皆さんに感謝致します。有難うございました。

この会議を通じて
松山さんが思ったこと

当日のプログラム

- ・事務局から京都市基本計画策定にかかるこれまでの活動報告
- ・松山委員及びU35メンバー4人から「未来の担い手・若者会議U35」によるこれまでの活動報告
- ・京都市基本計画答申案の審議
- ・「基本計画の名称」募集の表彰式
- ・市長あいさつ
- ・尾池会長による閉会あいさつ

編集後記

基本計画の審議過程を、京都市民それから京都市職員の皆様に、われわれU35メンバーの視点からお伝えしようと、審議会のスタート時から、計35回にわたり会議を傍聴し、レポートしてまいりました。まちづくりの指針づくりは審議会の仕事でしたが、これから“まちをつくっていく”のは私たちU35世代の仕事です。U35の活動をきっかけに、これからも自分たちの目を見て、考えて“京都のまちづくり”に参加していきたいと思います。今までご愛読ありがとうございました。

京都市基本計画審議会第2回総会開催結果

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000090837.html>

未来の担い手・若者会議U35

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000071812.html>

(これまでに発行した傍聴記は全て、上記ページでご覧いただくことができます)